

山武地域 医療センター

県の撤退で、地元住民に重い負担 建設と運営は県の参加で

建設費二四五億円の内、九割を、地元市町村が負担

千葉県は、東金病院の老朽化を理由に成東病院・大網病院・東陽病院を統合した山武地域医療センターの建設計画を進めています。

建設費二四五億円(四五〇床規模)の内、県・国の負担は二七億円(十一%)、残り二一八億円(八九%)を地元市町村に負担させようとしています。しかも、市町村負担財源の

東金病院の医師激減、診療科も半減

山武地域は、人口あたりの医師数が、県平均の三分の二と県下最低です。出産前後の死亡は全国二位、小児医療の立ち遅れも深刻です。さらに、救急医療体制が不十分で病院への搬送時間が長く、「救急患者の死亡率が高い」地域です。

九八%が借金で、将来にわたり重い負担となります。これまで県は、県民の命と健康を守るため「県立病院は採算が合わなくてもやるべきことがある」としてきました。県は新病院の建設・運営に、行政組合の構成員として参加し、その責任を果たすべきです。

現在の東金病院は、医師数が三人から一四人に激減し、診療科も半減し、医療過疎に拍車をかけています。今、県が行うべきは、東金病院の医師不足を解消し、住民が安心してかかれる県立病院にすることを優先すべきではないでしょうか。



成東病院など
身近な公立病院の充実を

公立病院は、地域の医療拠点となつています。成東病院は小児科等がある総合病院として、地域になくはならない病院です。交通も不便な山武地域には、老人や子供が安心してかかれる身近な公立の総合病院が、どうしても必要です。

年間利用者数	
東金病院	16万人
成東病院	30万人
大網病院	12万人

ところが計画では、成東病院を介護中心の老人専門病院へ転換することになっています。経費削減の統合や民営化では、採算の合わない医療が切り捨てられ、医療過疎が進みます。地域医療を総合的に担う公立病院を独立のまま充実すべきです。

山武地域の医療をよくする会

代表：須河内 省三
(日本年金者組合 東金支部長)

0475-52-7226

〒283-0005

東金市 田間 84-4 須河内 気付

ご参加下さい

山武地域の医療を守る
住民の集い

日時：2月12日(日)
午後1:30～3:00

会場：東金アリーナ 会議室

テーマ：「山武地域医療センターの建設
運営に県の参加を求める」

山武地域医療センターの建設・運営への県の参加と
現在の県立東金病院の改善を求める署名

千葉県知事 堂本 暁子様

要望事項

- 一、地元市町村に過重な負担とならないように、県は、建設と運営の事業主体である行政組合に構成員として参加し、財政負担などの責任を果たすこと。
- 二、新病院を、救命救急などの高度医療に対応できる病院にすること。
- 三、成東病院・大網病院を統合縮小せず、現状医療体制の維持・充実にすること。
- 四、現在の東金病院の医師不足を解消するなど、安心してかかれる病院に改善すること。

氏名	住所

署名を送って下さい…送り先は、右記「よくする会」まで
(送料はカンパとして、ご負担をお願いします)